



北山村産柑橘類「じゃばら」の3次機能の研究

キーワード

じゃばら、ナリルチン、食品の3次機能、抗アレルギー作用、花粉症

研究内容

和歌山県北山村でユズが他の柑橘類と交雑して生まれたという「じゃばら」。その名は、蛇が逃げるほど酸っぱい、邪気が払われるといったことからついたものであるといえます。そのじゃばらと北山村の運命は、じゃばらの熱心な購入者の方の一言で激変します。「これは花粉症に良い・・・。」その後、口コミで知る人ぞ知る存在となったじゃばらですが、本当に花粉症に効くのか、そのエビデンス（科学的根拠）は不十分なものでした。そこで、私たちは北山村や㈱じゃばらいず北山と協力して、じゃばらの花粉症に対する効果と安全性を検討しています。2019年に実施したパイロット研究、2020年の特定臨床研究（jCRTs031190211）を経て、じゃばらがスギ花粉症の鼻汁改善効果を持つことが明らかになりました。主要成分であるナリルチンは動物実験等で様々な作用が報告されており、今後は抗アレルギー作用以外の3次機能についても研究を進めていきます。



「じゃばら」とは、和歌山県北山村産の柑橘類。ゆずと他の柑橘類が自然交配したもの。その名は蛇が逃げるほど酸っぱい、邪を払うから来ているという



おなじみの肺活量のほか、鼻腔抵抗も測定できる特殊なスパイロメーター。NIOXでは呼気（吐いた息）の中の一酸化炭素濃度をbpmレベルで測定し、炎症の有無を探る

関係論文、特許・著作物等の知財情報、連携の実績

- ・スギ花粉症に対するジャバラパウダーの効果を検討する多施設、プラセボ対照、無作為化二重盲検による並行群間試験（臨床研究実施計画番号jRCTs031190211）
- ・受託研究（北山村）
- ・受託研究（株式会社じゃばらいず北山）

社会連携・産学連携の可能性